

会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 平成26年度 第2回
開催日時	平成26年10月28日（火曜日） 午後6時から8時まで
開催場所	田無庁舎 5階 502 会議室
出席者	出席：石崎委員長、小澤副委員長、島委員、野澤委員、深田委員、鍵主委員、篠宮委員、洞澤委員、渡辺委員、入沢委員、尾関委員、小松委員、佐々木委員、鈴木委員 欠席：後藤委員 事務局：古厩課長、日下部課長補佐兼係長、渡邊主査
議題	(1) 第1回男女平等参画推進委員会会議録（案）の承認について (2) 男女平等参画社会の推進について (3) 西東京市第2次男女平等参画推進計画 実績5カ年総評価報告書について (4) 西東京市第3次男女平等参画推進計画・西東京市配偶者暴力対策基本計画の評価方法について (5) その他
会議資料の名称	「配布資料」 (1) 第1回男女平等参画推進委員会会議録（案） (2) 「改訂 学んで活かそう女性の権利 女性差別撤廃条約の新展開」（冊子） (3) 西東京市第2次男女平等参画推進計画実績5カ年総評価報告書の進め方について (4) 第2次男女平等参画推進計画実績5カ年総評価報告書（A・B・Cグループ） (5) 西東京市第3次男女平等参画推進計画・西東京市配偶者暴力対策基本計画の評価方法について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

(開会)

○委員長：

これから第2回男女平等参画推進委員会を開催いたします。

(1) 第1回男女平等参画推進委員会会議録(案)の承認

○委員長：

事前に会議録案をご確認いただいていると思いますが、訂正等ありますでしょうか。ご意見がある方は、お願いします。

異議なく承認された。

○委員長：

事務局から今日の会議についての説明をお願いします。

事務局より、配布資料の確認をした。

○委員：

会議の最初に、会議の成立についての確認はなされないのか。

○委員長：

これまでは事務局の方で参加者数を数え、要綱の成立要件については確認していた。今まで、会議が不成立になったことはなかったですね。

○事務局：

ありませんでした。

○委員長：

今までは、会議中に、成立の確認はされていませんでした。

○委員：

わかりました。

(2) 男女平等参画社会の推進について

○事務局：

委員の皆様は、各専門分野をお持ちで、男女平等参画に深く関わられている方も多いと思いま

すが、これから、第2次計画の評価や第3次計画の評価方法などをご議論いただくにあたり、男女平等参画のひとつの指針である女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約について、委員長にお話いただきます。

委員長より資料2に沿ってお話された。

(3) 西東京市第2次男女平等参画推進計画 実績5カ年総評価報告書について

事務局より、資料3について説明した。

○事務局：

まずグループ分けについてご承認いただけますか。前回事務局案として出してほしいというところがありましたので、皆様の希望を踏まえた上で資料のとおり事務局案を出させていただきます。

○委員長：

ご希望はありましたか。

○事務局：

ご希望はありました。その方はご希望のグループに入っています。

○委員長：

事務局より提案が出ていますが、異議のある方おられますか。

○委員：

男女比はどうなっていますか。

○事務局：

委員の中に男性が6名おられますので、2名ずつ入っていただきました。

○委員：

わかりました。

○委員長：

それでは異議がないということで、これで進めさせていただきます。

○事務局：

今日はグループごとに、グループの中での担当をきめていただきます。この後、席をグループごとに座っていただき、実際に各グループに評価するものを渡させていただき、それを見ただきながら説明させていただきます。

○委員長：

わかりました。

○事務局：

手持ちの配布資料の確認と、簡単な説明をさせていただきます。

グループごとに資料 4 を配りました。表紙に何グループというのが書いてあります。また、もしお使いになればということで第 2 次計画書と 24 年度の評価案を 1 冊ずつ各グループに配布しています。

お手元の各グループの報告書、資料 4 の最初のページをご覧ください。グループごとにページ数は違いますが、開いていただきますと上のほうに具体的な事業又は取組み計画、執行状況・事業評価、次年度の課題とありますが、こちらが各課で書いたものです。その横に事務局案ということで ABCD 評価を記載しています。こちらは報告書を最終的にまとめるときには消えてしまうものですが、皆様が最初から ABCD 評価をつけるのはちょっと難しいのではないかとということで事務局案として書かせていただきました。そのまま使っても、上書きしていただいても結構です。それがわかりやすいようにその右側に委員評価という項目を設けました。違う評価をつけていただく時にこの欄に書いていただくなど、皆様のわかりやすいように使っていただければと思います。また、皆様には、男女平等参画推進委員会の事業評価というところに各課が上げてきたものに対し、コメントをつけていただければと思います。

各グループもしくは皆様にお持ちいただいた 24 年度の評価報告書があると思いますが、そちらが去年の評価報告書です。左側に通し番号が欄外に記載してあります。資料 4 の資料と比較すると同じ通し番号のところと同じ事業になっているはずですが、前年のものと比べると、その番号で探せば見つかります。

ABCD の基準は設けていますが、人によって感覚的なものがあります。評価基準を見ていただいた上で、ご自身が A と思うものは A、B だと思うものは B と書いてください。迷えばご相談いただければと思います。厳密に誰が評価しても全部同じものになるかといいますと、抽象評価的な部分もあります。そこはそんなに気にされなくて結構です。また、事務局案の ABCD は主に 24 年度の評価を基に評価をつけています。

以上ですが、この後、各グループのほうで担当分けをしていただきます。また、事務局との連絡方法ですが、各グループより連絡係の方を出していただき、その方と事務局で連絡をとるのか、個別にご連絡をとるのか各グループで決めてください。

○事務局：

メールのある方にはフォーマットを配信させていただきます。メールをお持ちでない方については、紙ベースになるので、今日お配りしたものをお使いください。

グループワーク実施

委員：

質問です。役割分担が決まりましたが、次回の委員会の前にグループで集まって、お互いの評価を確認したいのですが、以前にそのようなことをしたことはありますか。

○事務局：

以前にそのようなことをしたことがあるかわかりませんが、次回の委員会内でグループワークの時間を設けます。

○事務局：

連絡係の選出をお願いします

各グループ連絡係が決定した。

○委員：

評価やコメントを書くための資料は、資料4 だけですか。

○事務局：

そうです。ただ平成24年度の評価は以前配布いたしましたので、参考になると思います。

○委員：

報告書のデータはエクセルですか。

○事務局：

そうです。

○委員：

文字数は増やせますか。

○事務局：

文字数は気にされなくて結構です。

○委員：

担当課にヒアリングはできますか。

○事務局：

ご質問がある場合には、まず事務局にご連絡をお願いします。できるだけ、ご質問に対して事務局で対応します。また、担当課に直接行くことはやめてください。

委員：

わかりました。

○委員：

資料 4 中の担当課が記入する執行状況・事業評価という欄に書いてある会議の会議録などは希望すれば見ることはできますか。

○事務局：

会議録が公開されているものであれば、見ることはできます。

○委員：

今、まとめている報告書は、まとめた後にどのように扱われるのですか。

○事務局：

来年度の初めに、担当課に具体的な事業又は取組み計画を記載してもらう時に、前年度の評価コメントを参考に記載してもらうようにフィードバックしています。

○委員：

5 年間のまとめの評価はどこにでできますか。

○事務局：

5 年間のまとめの評価は項目としてはできません。領域別評価や委員会のコメントのところで評価の推移などについて触れていただければ結構です。

○委員：

グループとしては 5 年間を見直さなくていいですね。

○事務局：

そうです。

○委員：

評価の提出の締切りはいつになりますか。

事務局：

17日の8時30分までをお願いします。

○事務局：

今後、各領域のとりまとめをしていただきます。どなたが書かれるのかを少し考えておいてください。

○委員：

各領域のとりまとめの文字数はどのくらいですか。

○事務局：

24年度の報告書をご覧ください。A4の半ページほどです。

○委員：

わかりました。

(4) 西東京市第3次男女平等参画推進計画・西東京市配偶者暴力対策基本計画の評価方法について

○事務局：

お手元にお配りしました資料5をご覧ください。最初に申し上げますが、この資料5は第3次計画の評価方法について決めていただくものです。2次計画の評価を少ししていただかないとわからない部分があるかと思しますので、「今回はこういうことをやります」というのと「事務局としてはこんなふうを考えています」ということの頭出し的な説明になりますのでご了承ください。

事務局より、資料5を説明した。

○事務局：

今のご説明に対して皆さんに何かご回答くださいというのものではございません。ただ、2次計画の評価を進めていくと同時に、3次計画の評価を順次決めていきたいと思っています。前回の会議で申し上げましたように、平成27年度の1回目の会議までには、評価の方法を決定したいと考えています。委員会の中で、皆さんに少しずつ進めていただければと思います。

その評価方法の検討を進めるにあたり、資料5の1ページ目に書いてある方向性というところ

で、2次計画の評価方法を踏襲したいというところについてご承認いただければと思います。踏襲と言うのは何を指しているかといいますと、今、基本目標だとか、課題、施策、事業とあります。どの単位になるかわかりませんが、皆さんで、ABCD評価、コメントをつけていただいて、それより大きい範囲でまとめていただく、というところなんです。いろいろ書いてあったのは、その見せ方です。評価を4段階から5段階にしようだとか、そういう評価方法がそれぞれの単位では出てくるとは思います。各自治体のホームページでは評価方法が探しにくい部分があって、私もいくつか調べたんですけど、そんなに数は見当たりませんでした。冊子としては、いくつかありますが、複雑化してまとめているところもあれば、もっと簡素にまとめているところもあります。西東京市は基本理念をずっと引き継いでいるというところから、できればどこかの単位で委員さんに評価をしていただきまして、それをコメントとしてまとめていただくという方法に対してご承認をいただければと思います。事務局の提案に対してご承認をいただくか、または別の形のご提案があればお願いします。

委員：

ここまでよく頑張ってやっていただいたことに、まず感謝します。男女平等参画推進委員会施策評価基準のABCDの評価ですけど、これはもしかしたらもっといい表現があるかもしれないですね。Aの「課題解決に十分である」とBの「課題解決に概ね十分である」は「概ね」を入れるか入れないかでAとBが違いますね。Cの「課題解決に改善が必要である」とDの「課題解決に不十分である」はかなりくっきりしています。このあたりをみんなで話し合ってもいいかという気もします。

事務局：

ご承認をいただいて方向性が決まりましたら、次回ご議論いただきます時に、情報を集めてまた皆さんにご提示させていただきたいと思います。

委員長：

他に何かありますか。

委員：

今日はここで何も決めなくてもいいですよ。

事務局：

2次計画の方向性を引き継ぐというところについてはご承認をお願いいたします。2次計画を引き継ぐか、引き継がないかで、次回の資料作成が大きく変わりますので宜しくお願いいたします。

委員：

私はいいと思います。

委員：

2次計画の評価方法を基にすると、資料の提案に対して変更はできなくなるのですか。

事務局：

違います。基準などは変更していただくことができます。

委員：

基本的な枠を決めてほしいということですか。

事務局：

そうです。

委員：

決議をとっていただけますか。

委員長：

それでは、事務局の提案どおりか、また、別の方法か、2つに分けて決議をとってよろしいですか。

委員：

時間が無いので、挙手か拍手をお願いします。

委員長：

事務局の提案でよろしいという方は手を上げてください。

賛成多数で、方向性については事務局案が承認された。

(5) その他

委員長：

他に決めることはありますか。

事務局：

ありません。

委員長：

課長はいかがですか。

事務局：

最後の議題 5 ですが、誤解があるといけないので、補足いたします。

先程ご説明いたしましたとおり、基本的には担当課から評価が出てくるものは事業の単位でございますが、それに対して委員会でやる評価は、もう少し大きい単位の施策等で評価してはどうかというものです。これは決定したものではありませんので、今までどおり、委員会でも事業単位で評価してもかまいません。ひとつのご提案とご理解ください。先程、ご承認いただいたものは、担当課から評価がでてきたものに対して、委員会が評価を行うということだけです。また、説明の中で分かりにくいところがあったかと思います。今、事務局案という形で ABCD 評価をつけていますが、これに対して委員会の案はこうですと、最終的に公表するのは、委員会の評価だけです。事務局案というのは残りません。ただ、それだと担当課が行ったことに対してこちらが一方的に評価したものが残るだけですので、インパクトが弱い気がします。担当課が出した評価は残しつつ、委員会の評価も並列で出していきたいということです。

そうすることで、担当課と委員会の評価のギャップが出てきますので、事業を実施する側と評価する側の意識の違いが見えてきますし、取り組みがどこまで進んでいるかというのが見えてくるのではないかと思います。今後調整の中でいろいろ変わっていくかもしれませんが、そういう趣旨だにご理解いただければと思います。

委員長：

ありがとうございます。明日、エクセルの表が皆さんのお手元に届きます。

副委員長：

エクセル表は、メールでくるんですか

○事務局：

そうです。

委員長：

これで第 2 回の委員会を終了します。

○事務局：

今回は 11 月 25 日、会場は田無庁舎の 503 会議室です。

閉会

